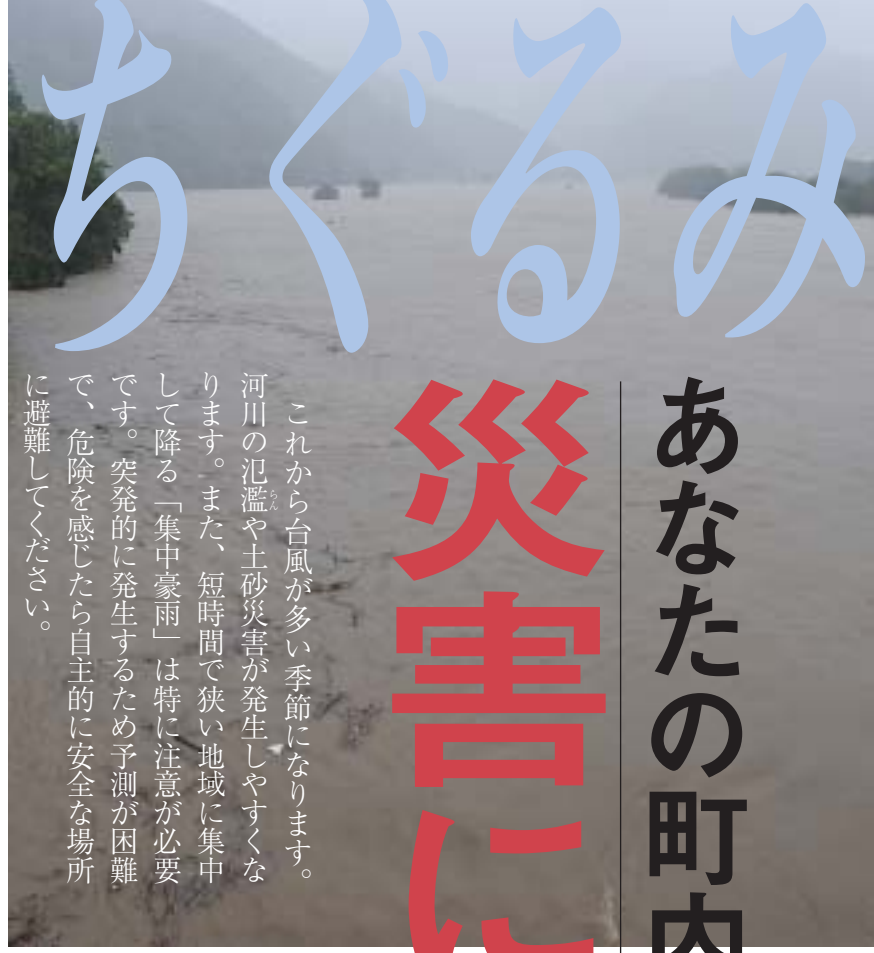


防災はみんななで意識ま



これから台風が多い季節になります。河川の氾濫や土砂災害が発生しやすくなります。また、短時間で狭い地域に集中して降る「集中豪雨」は特に注意が必要です。突発的に発生するため予測が困難で、危険を感じたら自主的に安全な場所に避難してください。

あなたの町内にも自主防災組織を

災害に備えて

▼自主防災組織の結成

大規模な災害に対して、最も素早く、そして組織的に活動を起こせるのが自主防災組織です。地域の皆さんが協力して活動することで、被害を食い止める力も一層増すこととなります。市では町内会を基本単位として、自主防災組織の結成を促進しています。この機会に、自主防災組織の結成をぜひご検討ください。

▼結成までの手順

①自治会の代表者や町内会長などを通じて、総務課行政係にご相談ください

②市が、必要に応じて自治会や町内会などの単位で説明会を行います ③自治会や町内会などでの簡単な計画を作成してください（受け持つ区域や、リーダーなどを決めます） ④市に自主防災組織結成の届出を行います

風水害に備える

台風は、接近する時期や規模、雨の量などを予測することが可能です。事前に対策を行うことにより、被害を最小限におさえることができます。

日ごろから万一の場合に備え、家の周辺の点検や、飲料水、非常食などの非常持ち出し品の準備をしておきましょう。台風が近づいてきたら、テレビやラジオなどで情報を収集し、いつでも適切な対応ができるようにしましょう。

屋外での対策

- ◆窓ガラス ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。また、強風による飛来物などに備えて、外側から板でふさぐなどの処置を。
- ◆屋根 瓦のひび、割れ、ズレはないか。トタンのめくれ、はがれはないか。
- ◆ベランダ 鉢植えや物干し竿など飛散の危険が高いものは室内へ。
- ◆外壁 モルタルの壁に亀裂はないか。板壁に腐りや浮きはないか。プロパンガスのボンベは、固定されているか。
- ◆雨どい・雨戸 雨どいに落ちた葉や土砂が詰まっているか。継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはないか。雨戸にガタツキやゆるみはないか。
- ◆ブロック塀 ひび割れや破損箇所はないか確認。
- ◆側溝 側溝のごみや土砂を取り除き、雨水の排水をよくしておく。

屋内での対策

- 懐中電灯、携帯ラジオ、貴重品などの非常持ち出し品を準備する。
- テレビなどの気象情報を注意深く聞く。
- 危険なのでむやみに外出しない。
- 断水に備えて飲料水を確保する。
- 浸水の恐れがある場所の家財道具や生活用品を高いところへ移動。
- 子どもやお年寄り、病人などを安全な場所に避難させる。



■八代地区自主防災会
—4月7日 八代いこいの広場
約85人が参加し、避難訓練、安否確認、消火訓練、炊き出し訓練を実施。消火訓練では、消防団員から消火器の操作方法などの説明を受けました。参加者からは「普段からの備えが大切」と、前向きな意見が多くありました。



■ユニチカ前町内会
—6月9日、16日、23日 中原ユニチカ前町内会公民館
41人が参加し、防災啓発ビデオを活用した防災講座を実施。3回に分け開催し、多くの人が参加しやすい工夫をしています。防災啓発ビデオを見た後、自主防災組織の代表が座長を務め、備えや行動について話し合いました。



■長良地区の自主防災組織 5組織の合同活動
—7月7日 長良文化センター
長良地区の5組織が合同で防災講座、炊き出し訓練を実施。約50人が参加しました。最初に地震や耐震化について学び、その後5つの組織に分かれ安否確認の方法を学び、炊き出し訓練を実施しました。炊き出し訓練では、火は簡易コンロ、水はペットボトル、限られた食材など災害時を想定した調理方法の工夫をしていました。



■あおいハイツ自治会自主防災組織
—3月17日 あおい中央公園
地震を想定した避難訓練を実施。団地内の公園を避難場所として集まり、そこで地震を体験できる起震車を使い防災意識を高めました。

自助・共助の要となる自主防災組織の活動状況を一部紹介します



■清音三因地区自主防災組織
—6月30日 清音ふるさとふれあい広場
約100人が参加し、AED講習、消火訓練を実施。この日は清音三因地区の運動会。地域の行事に合わせて訓練実施という参加しやすい雰囲気づくりの工夫をされ、子どもから大人まで多くの人が参加していました。